

問一

次の①～④の文に使われている表現の工夫の説明として当てはまるものを、後の説明ア～エの中から選び、記号で答えましょう。

① なんて美しいのだ、今夜の月は。

② 新しく習った漢字を何度も何度も書いて、覚えるまで練習した。

③ まるで山のように大きな岩が、道をふさいでいました。

④ その湖は青く大きな鏡だ。

ア「まるで」のようだ」など、たとえであることを示す言葉を使い、ある物事を、他の物事にたとえる。
 イ「まるで」のようだ」などを使わずに、ある物事を、他の物事にたとえる。
 ウ 同じ言葉や似た言葉を繰り返して強調したり、リズムを整えたりする。
 エ 文中の言葉の順序を入れかえて強調する。

問二

次の文中の 線部が様子や状態を表す言葉（擬態語）であればアを、音を表す言葉（擬音語）であればイを□に書きましよう。

① 寒さで体がふるふる震える。

② 扉をバタンと閉める。

③ カミナリがゴロゴロと鳴る。

④ 星がきらきらと輝く。

⑤ ドーンと花火が打ち上がる。

⑥ 花びらがひらひらと舞い落ちる。